

香美市子ども・子育て支援事業計画における個別事業の進捗状況(平成29年度)に関する質問・意見票

資料3

NO.	実施事業 (担当課)	質問・意見	回答
2	保育所運営の充実 (教育振興課幼保支援班)	<p>・保育士・調理員の確保について 人が集まらない原因はどこにあるか(お金・時間・資格) ↓ 保育士が集まっているところを調べてもらいたい(県外等)</p> <p>・保育士が保育に専念できるよう、書類仕事を担当する事務員の配置ができないか</p>	<p>・保育士不足は全国的な課題であり、国も賃金引上げなど処遇改善に取り組んでいるところです。何よりも、保育士が不足しているという現状であると考えています。幼保支援班としては、正職員については、少なくとも退職補充がなされるよう人事担当課へ要望するとともに、臨時職員については、近隣の競合のため、保育士単価を平成28年度より日額9,000円へと引き上げているところです。</p> <p>・園長の事務を軽減するため、平成28年度より非常勤の事務職員を雇用し、なかよし保育園、あけぼの保育園、美良布保育園で主に臨時職員・非常勤職員の賃金等雇用関係の事務補助を行っています。</p>
16	子育て短期支援事業 (福祉事務所社会長寿班)	<p>・広報以外の課題はないか？ ・広報が課題であれば、別の手段に切り替える必要を感じる。→ステイ先の雰囲気や伝えたり、課題を抱えている家庭にピンポイントで伝えたりなど。</p>	<p>広報を課題にあげていましたが、入院等でショートステイの利用が必要な場合は、病院や家庭児童相談員から窓口に連絡があり、利用につながっています。ただ、児童が発達障害などの特性を持っている場合は、すでに入所している児童との兼ね合いから受け入れが難しい場合があります。そのため、進捗状況に記載の「取り組み・成果、課題、今後の方向性」を、資料4の通り訂正いたします。</p>
24	乳幼児集団健診 (健康介護支援課親子すこやか班)	<p>4か月児の受診率はなぜ低いのか？ H29:87.4% ←H28:91.4% (全国平均 95.6%)</p>	<p>乳児期は4か月児健診、10か月児健診を集団健診で実施してるほか、個別健診として乳児一般健康診査2回分の助成しています。早産・低出生等で医療機関フォロー中の方や、乳児一般健康診査受診票を使用し医療機関で健診を受けている方がおり、4か月児健診の受診率が低くなっていると考えます。</p>
27	むし歯予防 (教育振興課幼保支援班)	<p>フッ素洗口もいいが、歯磨きを充実させることも大事ではないか。ひまわり保育園では、1歳から歯ブラシをもち、保育者が仕上げみがきをするようにしている。公立でもできないことはないのではないかと思います。</p>	<p>ご指摘のとおり、歯磨きの充実は生活習慣を身につけていくうえで、欠かすことができません。公立保育園では、歯磨き・フッ素洗口ともに、4歳又は5歳からの開始となっており、低年齢児は歯磨きはできていませんが、食後のうがいをするなどで年齢に応じたむし歯予防に努めています。</p> <p>また、毎年各園で歯科衛生師・保健師・栄養士によるはみがき教室を実施しており、教室をきっかけに家庭でも歯磨きを習慣化できるよう保護者も含めて啓発を行っていきます。</p>

52	高知工科大学との連携 (教育振興課学校教育班)	業務内容①について H27年度の目標設定に項目として設定されているが、「取り組み成果」及び「課題等」に①「平成25年度から中止」とあるのはどういう意味か。目標と取り組みの整合性が不明。 また、今後の方針にも①の項目自体がないのは事業自体が中止されているからか？	平成25年度から中止しており、平成27年度の目標設定に項目として設定していたことが誤りです。 今後の方針が無いのもそのためです。
65	ひとり親家庭に関する支援 (福祉事務所社会長寿班)	事業内容の目標に対して、「課題等」で『現況届出時に「ひとり親家庭等福祉のしおり」の配布ができませんでした』となっているのに、評価がA(計画通り進捗している)となるのでしょうか	現況届発送時に「ひとり親家庭等のしおり」を同封して送付するものと錯誤し、『「ひとり親家庭等のしおり」の配布ができませんでした』としていましたが、実際は、児童扶養手当の現況届受付時に窓口で配布ができていました(担当異動による錯誤)。 配布ができていないが、評価をAにした点については、例年児童扶養手当受給者の現況届受付時に窓口で「ひとり親家庭等のしおり」を配布していることと、新規申請時には、「ひとり親家庭等のしおり」を渡しているため、該当者への周知はできていると判断したためです。 進捗状況に記載の「取り組み・成果、課題、今後の方向性」を、資料4の通り訂正いたします。